GRA&GREEN

第4回セミナー

「10年を1年に」
半数体誘導が拓く超高速F1育種の未来
～ゲノム編集を活用した純国産新技術の開発～

先端技術を用いて新たな作物品種の開発を進めているグランドグリーンが、
半数体誘導とゲノム編集を融合した超高速F1育種の取り組みをご紹介するセミナーを開催します。

セミナー概要

気候変動の進行や市場ニーズの多様化に迅速に対応するため、新品種開発の高速化が求められています。

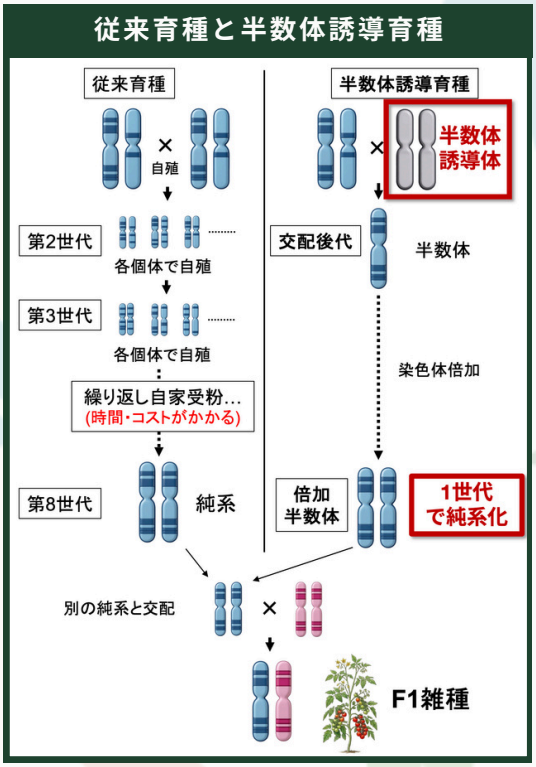
スーパーに並ぶ多くの野菜はF1（ハイブリッド）品種ですが、親系統（純系）の作出に通常6～10年もの歳月を要することが、育種期間を短縮する上での大きなボトルネックとなっています。

グランドグリーン株式会社は東京大学との共同研究により、クロマチン制御に基づく新たな半数体誘導メカニズムと、独自のゲノム編集技術・プロモーター活性予測AIを融合し、従来は複数世代を要していた純系作出を1世代に短縮する「純国産・超高速F1育種プラットフォーム」の開発に取り組んでいます。

本講演では、生研支援センターの令和8年度スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）に採択された本研究課題について、半数体誘導の基本原理と従来技術との違い、現在進めている研究開発の内容、そして主要野菜への適用や種苗産業への展開を見据えた事業化構想をご紹介します。



グランドグリーン株式会社
研究員・プロジェクトマネージャー
BRAIN SBIR支援R8年度 研究代表
江尻 真斗



2026
12.14 月
時　間:
14:00 - 15:00

お申込みはこちら

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_jcmd5Hn2TqmfJ60RBB9SQw

申込期限：12月7日（月）

場　　所:　オンライン開催
参 加 費:　無料
定　　員:　50名